
子夜

伊神識

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

子夜

【Nコード】

N8751F

【作者名】

伊神識

【あらすじ】

私が用意した三つの夏の空間を楽しみください。

この話しは自分が昨年8月に書いた日記みたいなもので、冬の今とは違い、汗ばむ昨年の

夏を思い出させるものです。

X
X X

近頃、翌日の試験のために、夜遅くまで教科書と睨み合うことが多くなった。子夜を過

ぎれば、出かけて気分転換をするのがいつの間にか、毎日続くようになった。明かりを消

し、部屋から出れば、外は深夜に静まりかえり、昼間の澱んだ熱気もすっかりどこかに消

えた。

街灯の途絶える夜道を照らす優しい光に気づき、夜空に浮かぶ月を見上げる。「満月

か」と言葉を漏らし、あることに気づく。炎天下の昼間を蒸す熱気に蔽われ、人気のなく

なった今に現れるもの。深夜にしかない独特のにおいが四方に満

ち溢れ、街に染み込ん

でいき、すべてをなだらむ空間があった。

その空間の先に、強く現実味を持った光が見えてくる。行き着く場は寝る間をも惜し

む、人工的な異空間だった。中に入り、寒いほどの空気に身を包まれ、彩れた棚に一通り

目を通したあと、何も買わずにコンビニを出る。背後から放たれた蛍光灯の光に照らされ

た道を戻り、決して明るくはない月明かりに移っていくと同時に、先ほどの身を包むよう

な違和感が抜けていく。代わりに、自分の体が今居るこの静かな空間の所属物に同化して

いく。そう間もなく、アパートにある自分の部屋の前に立つ。鍵を挿し込んだまま、この

先に広がる空間に入るのを躊躇いながら、鍵を回した。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8751f/>

子夜

2011年1月15日20時51分発行